

えんだより 11月号

平成30年度
福)五和会
大津保育園

《運動会・・・体の育ち 心のそだち》

さわやかな青空のもと、園庭では鉄棒やうんてい、縄跳び・おにごっこなど活動的に遊ぶ子供たちの姿で活気にあふれています。保育参加で園庭を子どもたちと一緒に走り、あそんでいるお母さんの姿も印象的でした。運動会をきっかけに、遊びの中で、2人・3人・4人・チームでと友だちとの共感性を高められるようにと運動面だけでなく、気持ちの育ちを意識しながら培ってきました。競技をしている時の子どもさんの姿だけでなく、応援席にいる時の様子も良く見て下さっている保護者の方もいて、多方面からいろいろな姿に注目して下さっていました。今年度異年齢保育の中で、どんな運動会になるのかと楽しみにしていた方も多かったのではないのでしょうか。頂いた感想を紹介します。

- *今までと違う徒競走で子どもが家でも「ピョンピョンタッチやろう!」と言って運動会が終わってもやっています。
- *サーキットを頑張っている所を見て、もうこんなこともできるようになったんだと感動しました。逆上がりもできるようになりたいようなので家でも練習してみます。
- *今回は、全体的にいつもと違う内容の運動会だったように感じ、地区の運動会や、少し昔の運動会っぽくてなぜか懐かしさを感じました。
- *二人三脚はあらかじめ家でも練習したのですが、本人はとても楽しかったのか、「もっとやろう、もっとやろう」と言っていました。体を使って遊ぶいいきっかけになったなと思いました。
- *縦割りでの玉入れも異年齢がともに協力し、応援しがんばる姿が見られて良かったです。
- *私の中で一番感動したのは、一生懸命友達の応援をしていたところ。大きな声で「〇〇ちゃんがんばれー」と応援席まで聞こえてきて、つばきの友達はもちろんのこと太陽っ子のさくらやふじ組の友達を応援している姿がとても素敵でした。
- *先生がいない所でも、子どもたち同士で励まし合っている姿がほほえましかったです。
- *成長とともに初めて勝負を意識した運動会だったようです。負けてしまい、席に帰っていく5歳の背中にズーンと暗いものを感じました。背中も物語る年長さん・・・。父も母も楽しませていただきました。沢山の保護者の方からご意見を寄せていただき、職員も励みになりました。天候が危ぶまれた中、役員の皆様にも早朝よりお世話になり、本当にありがとうございました。



《芋・イモ・いも》

今年は“げんき畑”でも立派なサツマイモが出来ました。同じ時期に地域の方から芋掘りのお誘いも頂き、芋ほりを満喫しました。『芋パーティ』ではおじいちゃん・おばあちゃんにお手伝いをして頂き、ホクホクの焼き芋で秋の味覚を楽しみました。

CD《音・いのち・光》

第3回目の親支援。池谷信子先生の『絵から子どもの内面を見つめ、子どもに寄り添ってみませんか』をテーマに個別相談会がありました。「自分の知らない部分、気づいてあげられなかった部分を教えていただき勉強になった」というおかあさんの声もありました。池谷先生の言葉と音楽で綴られたCDを頂きました。貸出し致しますのでどうぞお聞きください。

《動物ふれあい》

みんな楽しみにしていた動物ふれあい。今年は生後1か月のウサギと山羊の赤ちゃんも一緒に連れて来て下さり、大人気でした。

